

# 2016 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科目区分名	生活科学部共通科目
-------	-----------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

この科目区分は、春学期「生物の基礎」「情報処理 II」「調理科学実習 I」「化学の基礎」「保育学実習」の 5 科目からなっている。すべてが、1 年次生に配分されている科目である。

「授業内容を理解できましたか」（昨年度 4.13→今年度 4.05）「予復習や自主学習に 1 週あたりどれくらい時間をかけましたか」（1.28→1.13）「授業方法は工夫されていきましたか」（3.93→3.83）「授業レベルは自分に合っていましたか」（3.72→3.43）「教員の話は、聞き取りやすかったですか」（3.90→3.83）「授業はシラバスに合っていましたか」（4.27→4.23）の 6 項目で、昨年の評価を下回った。授業内容は、さほど変わっていないことを考えると学生の学力が、低下していることあるいは学生気質の変化が察せられる。

全学平均を上回った項目は、「授業に意欲的に取り組みましたか」（全学平均 4.16, 科目区分平均 4.17）「予復習や自主学習に 1 週あたりどれくらい時間をかけましたか」（全学平均 0.67, 科目区分平均 1.13）「授業は集中して学べる雰囲気でしたか」（全学平均 4.26, 科目区分平均 4.28）の 3 項目しかない。他の 6 項目に関しては、全学平均とほぼ同程度か下回っている。特に、「予復習や自主学習に 1 週あたりどれくらい時間をかけましたか」は、全学平均を上回りはしたが、昨年度に比べ 1.28→1.13 へと低下している。

以上のことから、今年度の受講生は、昨年度までと異なり自ら学ぶという姿勢にかけているようである。彼らに対応するためには能動的授業を推し進める必要性を強く感じる。

DWCLA10 に関しては、「分析力」「リーダーシップ」「思いやる力」「変化対応力」「自己管理能力」で全学平均を上回った。これは、実験・実習が、含まれていることによるものと考えられる。反対に、「創造力」「プレゼンテーション力」「自己実現力」などは、全学平均を下回っている。演習形式の授業ではないので、これらの力は、演習を含む他の科目区分で補ってもらいたい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。